



熱中症の予防啓発と併せて、熱中症発生時の応急処置機材の設置は安全管理者の責任です

熱中症の応急処置機材 ピーベック

P-PEC

熱中症で失われる
命を救う為に！

設置3秒で
すぐに使える

熱中症専用アイスバス

AEDと同様に
設置しましょう

P-PEC

Profit Personal Emergency Cooler

学校・スポーツ現場・労働環境の必須アイテム

特許取得済 特許第7473733号

死者・後遺障害被害者を一人も出さない為の必需品

- ・ **設置3秒** 事前準備は不要！緊急事態になってからでOK
- ・ **圧倒的低水量** 水道が無くてもポリタンク4本で全身冷却可能
- ・ **軽量コンパクト** 小さなバッグに収納、置き場所にも困りません

※1.アメリカの熱中症研究機関KSIのダグラス所長のNHKサイト内の言葉

そこにアイスバスがあれば助かったはずの命があります



使い方

3秒で設置完了！
圧倒的低水量で
全身冷却可能！
水道のない場所でも安心です



熱中症の応急処置

スタート

熱中症疑いの症状

ふらつく・座り込む
歩けない・倒れる
めまい・頭痛・嘔吐
筋肉がつる・脱力感

暑熱環境改善

日陰や室内で日光を遮断
自動車内でエアコンなど
可能な限り涼しい環境へ

水分が飲める

スポーツドリンクや経口補水液などバランスの
良い水分を補給する。
送風や濡れタオル、アイスバックなどを用いて
できるだけ広い面積を冷却しながら症状が
改善するまで注意深く経過を観察する

OK！意識清明

症状が改善しない

水分が飲めない

有効な身体冷却を継続しながら自家用車
または救急車で病院搬送の準備をする

意識の有無

見当識のチェック

●ここはどこですか？
●何をしましたか？
●名前と生年月日は？

×応答が遅い・意識混濁
×受け答えが変・ちくはく
×ペットボトルの蓋が自分で
開けられない

119番 救急車要請

身体冷却が最優先

効果的な冷却方法

1. アイスバスに全身を浸ける
2. 水に濡したタオルと送風
3. ホースで水をかけ続ける

部分的な冷却よりも広い面積を水で冷やす事が最も有効！

クールファースト・トランスポートセカンド

迅速に深部体温を下げる事で救命率が上がります！

軽症でもアイスバスで冷やして構いません！

病院



P-PECは必要な物が全て入ったオールインワン
本体×1 専用収納バッグ×1 折り畳みポリタンク80ℓ分
温度計×1 小児サイズ調整用セーバーベルト×2

販売価格 50,000円(税込) 送料無料

公式販売ページよりお求め下さい

P-PEC公式

検索



profit.co.jp/p-pec/



予防や啓発だけで熱中症から命を守る事は不可能です！

もし熱中症が発生したら・・・

重症の場合は「首筋や腋を冷やして救急車要請」では完全にタイムオーバーです

重症熱中症 深部体温42℃は生命の危機

30分以内に深部体温3度低下が救命のタイムリミット

深部体温3℃低下に必要な時間 ↓



現場で
太い血管を氷で冷やす
90分

冷却速度が遅すぎてタイムリミットを大幅にオーバーします



現場で
全身を水に浸ける
18分

倒れて10分以内に開始すれば100%救命できると言われています



救急車で病院に運ぶ
119から病院到着の全国平均時間

47分

※アイスパックで冷却しながらの搬送
病院到着時の体温は約1.6℃低下

※数値は消防庁発表データ及び学術文献データより算出した近似値 2023年

右の図はNHKのみんなでプラス・学校教育を
考えるというコンテンツの熱中症に関する記
事の中で取り上げられた、アメリカの学術文
献を元にした冷却速度のグラフデータを分か
りやすく抜粋した物です。

一般にアイスパックを脇にあてると太い血管
が冷えて体温を下げる、といった認識がある
と思いますが、実際にはそのような効果は見
込めません。アイスパックでは皮膚との接触
面積が小さすぎて、体温を下げるほど熱が奪
われません。

NHKみんなでプラスより

<https://www.nhk.or.jp/minplus/0012/topic033.html#section04>

現場で！直ちに！躊躇なく！

**アイスバスで全身冷却を開始する事が
救命のカギとなります**

意識が無い、受け答えが
おかしい等の重症時には
深部体温は42℃前後に
なっていて30分以内に
38℃台まで下げないと
死亡や後遺障害のリスク
が断然高まります

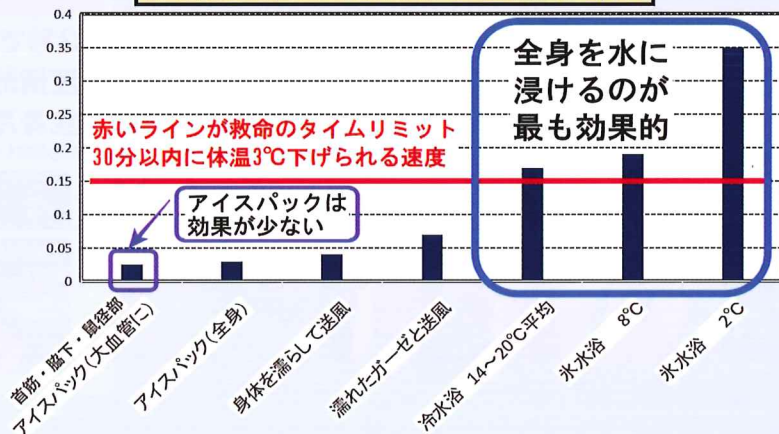
**アイスパックでの部分冷
却や救急車で病院搬送
では全く間に合いません**

熱中症については最新のデータ分析から「1に冷却、2に搬送」
というのが専門家のコンセンサスになってきています。かつて
は病院など治療ができる場所に搬送する事が第一とされてきま
したが、倒れてから30分以内に体温を下げる事ができれば
100%命を救える事がわかってきた為です。



首筋等の太い血管の部分冷却は実は冷却速度が遅いという事実

様々な冷却方法による深部体温の冷却速度【℃/分】



重症熱中症の発生に備えて 熱中症応急処置機材

3秒で設置できる アイスバス P-PEC

上記の様にアイスバスが重症熱中症からの救命に有効な事は以前から知られてい
ましたが、空気を入れたり組み立てたり、大量の水が必要であったりと現実問題
として準備して備える事は困難でした。

しかしP-PEC(ピーペック)ならAEDのように備えておいて、いざという時には
3秒で設置して圧倒的な低水量で全身冷却が開始できます。

学校環境は勿論、建築関係や工場等の労働環境、スポーツの現場に常備頂ければ
尊い命を救う事が可能になると存じます

商品名	P-PEC (Profit Personal Emergency Cooler)
セット内容	P-PEC本体×1、収納用バッグ×1、給水袋80リットル 分、温度計×1、小児サイズ用セーバーベルト×2
使用時サイズ	長さ 155cm 最大幅56cm 深さ25cm
折り畳み時サイズ	47cm×25cm×20cm
重さ	約3.5kg
材質	PVCターポリン
必要水量	80リットル～100リットル
総発売元	有限会社プロフィット 兵庫県三田市相生町27-11 はつかビル2F 電話 079-559-5884
JANコード	4573273823004

有限会社プロフィット p-pec@profit.co.jp

お問い合わせはこちら



TEL 079-559-5884
FAX 079-559-5886

〒669-1526

兵庫県三田市相生町27-11 はつかビル
平日/11:00～18:00

<https://profit.co.jp/p-pec/>

お求めは公式ホームページから

P-PEC公式

検索

ピーペック



profit.co.jp/p-pec/